

所属長 各位

愛知体操協会

愛知県ジュニア選手権大会感染拡大予防ガイドライン

貴団体におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策等への取り組みにご尽力いただき、感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症は未だ終息しておらず、本年も厳しい状況になって参りました。

昨年同様、大会を開催するにあたり、本協会から大会要項と共に選手・役員・審判員・補助員宛の「注意事項」「ガイドライン」を配信させていただき、皆様と共に感染拡大防止に取り組んで参りたい所存であります。また、本協会からの情報提供だけでなく、日本国政府、各自治体、各教育委員会、各保健所等から発信される最新情報につきましても十分ご留意いただき、日本体操協会ガイドラインを踏まえ、使用体育館規定に従い、それらの情報をしっかりとご理解ご活用いただきながら、感染拡大を防ぐ諸対策を講じていただければと存じます。

何卒、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- ・各所属において、大会2週間前より選手、コーチ、役員、補助員(選手の保護者・撮影者を含む)の体調を把握し、記録(各所属それぞれの方法で良い)を行う。発熱や感冒症状で病院を受診したり服薬等をした方は参加(入館)させない場合がある。(それぞれの家族でも発熱や感冒症状で病院を受診したり服薬等をした場合も参加させない場合がある。)大会日より2週間後までの体調も把握し記録する。大会前それぞれの記録の中で1日でも症状のある場合は大会前日までに本部へ申告する。
- ・当日、入館前に体温測定ならびに風邪等の症状の有無を確認(大会前に主催側より当日のチェック表を各所属に配布する。競技場入場の際、チェック表を各班所属別に提出する。)し、具合の悪い方(選手、コーチ、役員、補助員、保護者を含む入館者で37.5℃以上の発熱、37.5℃以下でも倦怠感等の風邪の類似症状がある)は入館しない。
- ・発熱者や具合の悪い方が特定された場合、速やかに大会本部へ申告し、接触感染のおそれのある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
- ・入館後はただちに手洗い(30秒以上かけて正しく行う)、または消毒液による消毒を行う。
- ・競技場に入場、退場の際には、手洗い(30秒以上かけて正しく行う)、または消毒液による消毒を行う。
(各所属のコーチは選手のチェックをする。)
- ・セッティング・カッティングの選手、保護者、役員はジュニア委員長の指示のもと、密にならないよう注意をする。
- ・参加者が触れやすい場所をアルコール消毒や次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので、拭き取りを定期的に行う。(ひと班ごとに)
- ・大会は無観客で行う。ただし、選手1名につき1名の撮影者のみ、観客席からの撮影を認める。(選手の出場している班の時間のみ観客席への入場を認める。その際は2m以上の間隔を空ける。)撮影者の観客席への入場は各選手の競技時間15分前からとし、競技終了後は15分以内に速やかに退館する。所属コーチ・役員・審判員への挨拶等、接触はしない。
- ・撮影者は観客席使用の前後に、消毒液または消毒シートを持参し、拭き取りを行う。
- ・参加選手は各所属コーチの指示に従い、競技終了後は速やかに退館する。(他班の選手等とは接触しない。)
- ・飛沫感染を防ぐために徹底した対策を行う。(声援、ハグ、握手の禁止、人と人との間隔を空ける等。)
- ・入館者はマスク着用を要請し、咳エチケットを励行する。(選手のマスク着用についてアップ、練習、演技中は除外)ただし、熱中症を避けるため、こまめな水分補給を心掛ける。
- ・役員・審判員・補助員は必要最低限の人数で行う。(開閉会式・表彰式は行わない。)
- ・厚生労働省のホームページにおいてウイルス感染拡大に関連する最新情報を常に確認する。
- ・各所属コーチは、本大会の「感染拡大予防ガイドライン」を遵守する。(必要なところは事前に選手・補助員へ通達する。)
- ・参加選手(保護者)、役員、審判員、補助員には本大会の「注意事項」を配布し、遵守させる。

以上